

資料10 令和2年度重点事業・取組みに関する調書

	事業・取組み項目	目標	内容
総務課			
1	衛生組合解散・業務移管の準備	令和2年度	構成市町のし尿の処理方針の決定、久喜市新炉稼働時期が明確化されてきました。それらの進捗により、住民生活に支障が生じないよう準備を進めることが重要となりますので、解散前の準備段階で、し尿処理はそれぞれの市町で、ごみ焼却処理は久喜市が、それ以外の収集運搬及び関連業務は市町に移管する予定で進めています。本年度は、まず移管の具体的な期日（令和〇年〇月）を明確にすることにより、これらの業務が円滑に引き継げるよう久喜市、宮代町、組合の三者による収集業務移管の事務事業調整を行っていきます。
2	PPS事業者更新（契約）	令和2年度	久喜宮代清掃センター他施設で使用する電気に係るPPS(特定規模電気事業者)との受給契約が令和3年度末に満了となることから、4月以降の契約事業者を選定し受給契約を更新します。また、今回から再生可能エネルギーの導入についても仕様書に追加し、地球温暖化防止にも寄与していく予定です。
3	衛生組合負担金基準の見直し	令和2年度	当組合の運営経費は、組合規約及び経費負担基準に関する規程により負担割合が定められています。また、同規程では3年ごとに見直しする旨の規定があることから協議をした結果、これまでの「均等割りプラス人口割」から「処理量割」への移行が適切との結論に至り、令和3年度からの負担金を見直すための作業を実施しています。これにより、それぞれの市町の取り組みにより減量化の効果を発揮されることが可能となります。
業務課			
1	し尿収集の許可制への移行準備	令和2年度	し尿収集方式について、久喜宮代は委託方式、八甫は許可方式となっています。 (菖蒲は久喜市において委託方式) 廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、昨年度に三者連絡会議において調整したスケジュールに基づく令和4年4月からの移行について、市町と意見を集約のうえ着手するものです。
2	キャッシュレス方式の導入の検討	令和2年度	住民の利便性の向上や窓口業務の効率化を目的として、住民のニーズや導入費用等を勘案のうえ検討し、来年度上期中の導入を目標とするものです。
3	減量推進各事業の検証	令和2年度	昨年度末に早期終了した資源集団回収実証実験の検証報告を取りまとめ、今後の施策に生かしていきます。 また、例年実施しているノーレジ袋キャンペーンについて、本年7月からのレジ袋有料義務化の影響を鑑み、今後の必要性に踏み込んで検証するものです。
施設課			
1	各処理施設水銀灯LED化工事の実施【3センター】	令和2年度	各清掃センターの処理施設（ごみ処理施設・し尿処理施設）に設置されている水銀灯をLED照明へ交換する工事を行うものです。
2	八甫清掃センターし尿処理施設基幹的設備改良事業	令和2年度 令和3年度	久喜市では、市内全域のし尿処理について八甫清掃センターへの集約を計画しています。 このため、当組合では、基幹的設備改良事業として令和5年度末の竣工を目途に八甫清掃センターし尿処理施設の改良工事（令和4～5年度に実施予定）を実施する予定です。 これに伴い、令和2年度は、「長寿命化総合計画の策定」及び、「生活環境への影響調査」を業務委託により行うものです。 なお、「生活環境影響調査」は、令和2、3年度の2箇年で行うものです。
3	ごみ焼却施設機器の適正な維持管理【3センター】	令和2年度	各清掃センターのごみ焼却施設において、計画的な定期修繕工事を行うことにより、設備機器の機能を維持し、故障発生リスクの低減を図るものです。